

吉岐市の SDGsの取り組み

ふくおかフィナンシャルグループは、長崎県の離島である吉岐市の「吉岐市地方創生テレワーク推進」について事業支援を行っており、その事業の一環として4つの取り組みを実施しました。

この事業は、地方からデジタルの実装を進めるとともに、

「転職なき移住」を実現し、地方への新たなひとの流れを創出することで、新たな変革の波を起こし、地方と都市の差を縮めていくことを目的とする

「デジタル田園都市国家構想推進交付金」の制度主旨に基づき、

吉岐市のSDGs未来都市、テレワーク環境、豊かな自然などの強みを生かした地方創生テレワーク環境を推進することで、関係人口の創出、サテライトオフィス等の誘致の実現を目指すものです。

これらの取り組みを通じ、

吉岐市においてのワーケーション・テレワークなどを目的とした来訪や

事業創造・地域課題解決に向けたコラボレーションのきっかけ、

さらには、関係人口・共創人口の創出に繋がりました。



明星和楽

in 壱岐

2022.12.2-3 FRI-SAT



明星和楽 in 壱岐の開催

令和4年12月2日～3日

「明星和楽」とは、福岡市を拠点に2011年から開催しているスタートアップやクリエイターなど様々な方との「異種交創」をテーマとしたビジネス交流イベントです。自然豊かな環境かつ、地域課題解決型や事業創造型の新ビジネスに取組む多くの方がいる壱岐市で開催することで域内外の人々との交流の機会や更なるコラボレーションの機会に繋がることを狙っており、壱岐市では初めての開催となります。本イベントでは、壱岐イルカパーク&リゾートをメイン会場とし、壱岐市のキープアソン等のカンファレンスやネットワーキング、ワークショップ等施設等をめぐるスタンプリアー企画を実施し、壱岐市内・福岡市内はもちろん、北海道・関東・関西エリアからの参加も含め総勢96名（オンライン視聴131名）が集まり、活発な交流が行われました。



大学生が参加したSDGs共創キャンプ

令和5年2月21日～22日

春休みの期間を利用して、九州大学 共創学部及び芸術工学部の学生8名が吉岐市に訪れ、フィールドワーク・ワークショップを行う「SDGs共創キャンプ」を開催しました。プログラムでは、吉岐市で教育やまちづくりなどに取組む移住者等との交流をはじめ、地域の持続性に取組む事業者（地域の伝統産業である吉岐焼酎、再生可能エネルギーを活用した陸上養殖、雇用創出・新製品の開発に取組むオリブ園、民宿事業など）、吉岐イルカパーク&リゾートなどの観光施設でのフィールドワークを行った上で、若い感性でのアイデア創出を行うワークショップを行いました。地域の人の交流などにより学生の新たな気づきや多様な生き方・働き方を知る機会となり、それと同時に、地域事業者にも新たなアイデアや気づきが生まれた共創の機会となりました。

エンゲージメント コミュニティ ラボメンバー参加のSDGs共創キャンプ

令和4年12月2日～4日

吉岐市は、慶應義塾大学SFC研究所及びリクルートヒトラボと連携し、『エンゲージメント コミュニティ ラボ』を始動しています。関東・関西・北海道・福岡市など様々な地域に住むメンバーが吉岐市に訪れ、フィールドワーク・ワークショップを行う「SDGs共創キャンプ」が開催されました。当日は、吉岐市に新設された3つのワーケーション施設などの島内視察、明星和楽参加を通じて島内の環境や人々との交流を行い、グループで吉岐市をさらに盛り上げるアイデア創出のワークショップ・ブディスカッションが行われました。各年代の社会人の学びの提供や、エンジニア・デザイナーのコミュニティ形成、磯焼けなどの地域課題を所属企業のリソースを活用しての解決など吉岐でビジネスを考えるきっかけや吉岐での取組みに新たなヒントを得て今後も引き続き交流するきっかけとなりました。



吉岐なSDGs共創セミナー@福岡市大名

令和4年11月9日

「まち全体がキャンパスとなり、人と人が学び合い、つながっていく、コミュニケーションの輪が広がるプロジェクト」福岡テンジン大学とのコラボレーション授業を開催しました。授業では、吉岐市SDGs未来課の中村氏による吉岐市の紹介や、グループワークでの吉岐市を盛り上げるアイデア出し等が行われました。総勢32人の参加をいただき、今度吉岐に行ってみたいとの声や今後も吉岐市の情報提供をして欲しいとの声も多く聞かれました。

